

縄文の衣

～喜びを伝える風と時間の祝祭～



縄文から現在、未来を繋ぐ、茅野の風土と人々の想い。衣装デザイナー・時広真吾さんと市民参加者の皆さんが「衣」をテーマに表現するパフォーマンスを、茅野市永明小学校の体育館を舞台に創作・上演しました。着用する衣装の制作に合わせて、茅野の土などを素材にした染色のワークショップを行ない、市内小学校の「縄文科」授業でのアウトリーチ（出張授業）も実施しました。

平成29年度茅野市民館主催事業「あそびからクリエイティブ」
主催：茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造
助成：平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
一般財団法人 地域創造

衣装制作ワークショップ
「土と布で遊ぼう！土染め体験」

7月2日（日）
茅野市民館 イベントスペース

「縄文の衣～喜びを伝える風と時間の祝祭～」
創作日

8月11日（金・祝）、9月13日（水）、14日（木）、15日（金）
茅野市民館 マルチホール

茅野市内小学校
「縄文科」授業でのアウトリーチ

7月13日（木）、14日（金）
茅野市立豊平・北山・金沢・永明小学校

パフォーマンス
「縄文の衣～喜びを伝える風と時間の祝祭～」

9月16日（土）
茅野市立永明小学校



衣装制作

大地の「土」を素材にした染色により「縄文の衣」を制作するワークショップを7月に実施。本間江里さんを講師に、参加者の皆さんと水だけで染まる土染めの衣を試作しました。豊平小、北山小、金沢小、永明小では、155名の児童と一緒に、土染めTシャツを制作しました。

創作

衣装デザイナー・時広真吾さんの構成・演出により、茅野に縁のあるダンサーの小笠原大輔さん、永田桃子さん、木元梨枝さんと、出演・衣装制作で小学1年生から80代まで31名の地域の皆さんが参加して創作しました。



パフォーマンス

永明小学校の体育館に音響・照明を仕込み、ステージを客席とした舞台を設営。満席となる約100名の皆さんにご来場いただき、太古から現在、未来へつなぐ「祝祭空間」が出現しました。大地のうねりや震え、時に激しく時に穏やかな風の感覚などを、それぞれの身体と布の動きで表現し、茅野の歴史と、そこに生きる人々の願いと想いを綴りました。